

6・23 日本共産党 演説会

希望の持てる政治に！ 熱く訴え

市田忠義副委員長、比例 井上さとし参議院議員、野党統一 梅村慎一氏



熱気あふれる声援に応える(左から)高木光弘、河合良房、梅村慎一、市田忠義、井上哲士、本村伸子、中川裕子の各氏

がんばろうの思い会場いっぱい広がる

6月23日、岐阜市で開かれた日本共産党演説会は、全県各地から集まった1300人の熱気が、会場いっぱい。市田忠義党中央副委員長、野党統一の梅村慎一氏をはじめ、演台に立った各氏の熱い訴えに、会場は「がんばろう」の思いを込めた拍手に包まれました。



松岡清党岐阜県委員長

自民党政治に変わる明日への希望が持てる政治に。私たちは、ピースハートぎふが推薦する梅村慎一さんを支持してたたかいます。比例は、一次7人の勝利を勝ち取るために頑張ります。



中川裕子県議会議員

国民健康保険料の通知…命を守る国保なのに通知が届いたとたんどうしよう不安にかられる制度は変えるしかありません。今度は国の政治を変えましょう。年齢も性別もこえて、誰もが希望が持てる社会に。私も頑張ります。



高木光弘党員書記長

野党党首会談の合意に基づいて選挙区は辞退しました。これからは、野党統一の梅村慎一さんへの支援と日本共産党躍進に全力を尽くします。



河合良房さん(ピースハートぎふ代表)

野党統一を果たし、安倍政権を追いつめるための尊い決断、高木さんに感謝したい。73万人の有権者が国政選挙で棄権。その多くはあきらめ。そういう人たちに「選挙に行けば、政治は変えられる」とピースハートぎふは訴えています。



本村伸子衆議院議員

野党共闘で今国会での安倍改憲提案を押しとどめることができました。党創立以来の7年、一貫して戦争反対を通してきた日本共産党を躍進させてください。



梅村慎一さん(野党統一)

安倍政権の憲法改悪を許せば、後世の人たちに「なぜ憲法を変えたのか」と言われることに。「百年安心の年金」のウソをつく安倍政権を続けさせることは、子どもを持つ身として許すことは出来ない。政治経験のない私が政治を変えるために決意しました。野党共闘の勝利に向けて、いっしょに走って下さい。



井上さとし参議院議員(比例)

安倍首相は、日本共産党の年金政策を「馬鹿げている」と言いましたが、国民が年金に不安を持っているのに何の手も打たずにいる安倍政権こそ馬鹿げています。「令和の時代」にふさわしい憲法を」と言っていますが、「令和」の発案者と言われている方は「憲法九条を守ることが大切だ」と言っています。核兵器廃絶条約にサインする政府を。比例は日本共産党。引き続き国会へ送り込んでください。



市田忠義党中央幹部会副委員長

安倍政治を終わらせたいという政治ができるのか。日本共産党は①八時間働けばふつうに暮らせる社会、②暮らしを支える安心の社会保障、③お金の心配なく、学び、子育てができる社会、といつづつの提案をしています。自民党の公約には九条改憲があります。自衛隊の存在を憲法に明記するだけと言っていますが、これまで自衛隊員の命を守ってきたのが憲法九条です。国家間の紛争は止められないが、戦争は止められます。日本共産党という名前には、人間の自由で全面的な発展という未来社会へのロマン、反戦平和を貫いた歴史が詰まっています。理念、歴史、語源の三拍子揃った共産党の値打ちを日本中に広げてください。

アンケートから

熱弁に励まされました。これから全力を注ぎます

女性が働きやすい政治ができるといいなあ

会場の雰囲気良かった。活気がありました。

市田さんの演説を聞いて奮い立ちました。共に頑張ります。

一人でも多くの人にこの話を伝えたい

数年ぶりに参加しました。市民と野党の共闘、あきらめることなく実際の声を聞いて感動しました。